

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課  
 担当名: 授業料・奨学金担当  
 内線: 6652

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
N17	埼玉県国公立高等学校等奨学のための給付金事業			一般会計	教育費	高等学校費	教育振興費	公立学校父母負担軽減事業		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	なし			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4	
						分野施策	0503 多様なニーズに対応した教育の推進	SDGsターゲット	4-1	
1 事業の概要 国公立高校生等の修学を支援するため、低所得世帯を対象に給付金を支給し、教科書費などの授業料以外の教育費負担を軽減する。  ア 低所得世帯の生徒に対する給付 △80,602千円 イ 事務に要する経費 △778千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 低所得世帯の生徒に対する給付 1,362,629千円 → 1,282,027千円 低所得世帯を対象に給付金を支給し、教科書費などの授業料以外の教育費負担を軽減する。 イ 事務に要する経費 25,471千円 → 24,693千円  (2) 事業計画 ア 生活保護受給世帯 : 32,300円 イ 低所得世帯(課程別) 非課税世帯 / 年収約270～約380万円程度の世帯 ア) 全日制・定時制 : 143,700円 イ) 通信制 : 50,500円 ウ) 専攻科 : 50,500円 / 10,100円 ウ 多子世帯(専攻科)年収約380～約600万円程度の世帯 : 10,100円  (3) 事業効果 ア 生活保護受給世帯 : 893人 イ 低所得世帯(課程別) 非課税世帯 / 年収約270～約380万円程度の世帯 ア) 全日制・定時制 : 8,576人 イ) 通信制 : 223人 ウ) 専攻科 : 25人 / 5人 ウ 多子世帯(専攻科)年収約380～約600万円程度の世帯 : 0人  (4) 補正予算の概要 ア 低所得世帯の生徒に対する給付 受給者数が当初の見込みを下回ったことによる減額 : △80,602千円 イ 事務に要する経費 入札差金及び節約による執行残に係る減額 : △778千円						
2 事業主体及び負担区分 ア 【文部科学省】 高等学校等修学支援事業費補助金 (国1/3・県2/3) イ (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 (款)その他の教育費(細目)総務調査費(細節)総務調査費(積算内容)奨学のための給付金等										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	△81,380	△26,867						△54,513	1,306,720	
現計額	1,388,100	454,209						933,891		

## 事業内訳書

事業名	埼玉県国公立高等学校等奨学のための給付金事業		
単位事業名	低所得世帯の生徒に対する給付	予算額	△ 80,602千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 高等学校費補助金	△26,867	—	【文部科学省】 高等学校等修学支援事業費補助金 補助率 1/3
一般財源	△53,735	—	
合計	△80,602	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
扶助費	△80,602	—	奨学のための給付金の受給者数が見込みを下回ったことによる減額
合計	△80,602	—	

単位事業名	事務に要する経費	予算額	△ 778千円
-------	----------	-----	---------

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△778	—	

単位事業名	事務に要する経費	予算額	△ 778千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△778	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△354	—	入札差金及び節約による執行残に係る減額
役務費	△424	—	入札差金及び節約による執行残に係る減額
合計	△778	—	